

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…らぶらぶデイサービス（らぶらぶデイサービスセンター、第2らぶらぶデイサービスの2事業所合同）

サービス種類…地域密着型通所介護

会議開催日…令和7年3月17日

開催場所…就労支援事業所らぶ（旧）介護デイサービスらぶらぶ

出席者

事業所	3人	利用者	0人
利用者家族	2人	地域代表者	2人
知見を有する者	0人	包括支援センター	1人

議事

1、園長より

地域の方々や皆様の意見を聞かせて頂き、より良いサービスが提供できるように努めていきたい

2、活動状況報告

- ① 資料を基に、活動報告を行う。
- ② 資料を基に、ヒヤリハット・事故報告を行う。
- ③ BCP（不測の事態が発生した場合の業務継続計画）について

○雪害について

- ・以前は、出来るだけ通常の営業時間で行うようにしていた
- ・今は時間を短縮したり、送迎前にご自宅の様子を聞き、その様子に合わせた対応を行っている
- ・どのようなやり方が良いのか、今後も検討を重ねていく必要がある

（家族）2名

- ・迎えが遅くなり、しかも早く帰って来る事になりそうな時は、自分の判断で休みにさせてもらっている
- ・短時間であっても、休みでない限りは出かけさせてあげたい

3、意見交換

（包括）

- ・1日の定員と職員の人数を教えて欲しい
- ・ヒヤリハットをきちんと挙げる事で、事故の防止に繋がっており、次に繋がる運営ができています
- ・職員に限られる中で、工夫してしっかり見ておられる
- ・地域の方の参加もあり、しっかりとした会議が出来ている

他の事業所・・・地域の方やご家族は参加されない所もある
地域の方やご家族が参加しやすい土日開催の所もある
活動報告・事業報告も濃淡がある
1年の振り返りやお便りがある所もある

(家族) 2名

- ・地域でも高齢化が進み、問題が出てきている。
- ・デイサービスは、高齢者にとって、大事なサービスだと感じている。
- ・ヒヤリハットは、きちんと家族にも報告しておられ、しっかり対応が来ている

- ・主人が病気になり、色々なことが出来なくなり無気力になっていた。デイに通うようになり、声をかければ自ら準備するようになった。
- ・干し柿をした時は、自ら話しをしてくれた。行事も工夫して行っておられる
- ・デイに通って良かったと思っている
- ・利用者は、楽しいと夢中になり転倒等の危険もあるので、職員さんも大変だと思う

(地域)

- ・若い世帯は増えたが、福祉の活動が進みにくい現状がある。
- ・高齢化も進み、今後の地域の繋がりについてもしっかり考えて行かないといけない
- ・デイで行っている行事なども参考にしたい
- ・ヒヤリハットについては、きちんとヒューマンエラーの対策もしておられる
- ・家族や外部からの信頼もあるので、今のままサービスを継続してもらいたい

4、その他

- 同じ利用者様宅の置物で、何度も車の物損がある事について
- ・家族としても何か対応をしてもいいのではないかと思う
 - ・事業所も何か対応をしていく必要があるのではないか

(事業所)

- ・ヒヤリハットも、同じ利用者様の件があったり、何度も同じ所での車の物損があったりと次に活かしきれていない所もある
- ・今後も課題解決に向けて検討を重ね、サービスの向上に努めていく

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○